

Well-being に関する取りまとめ作業方針

内閣府 政策統括官(経済社会システム担当)付参事官(総括担当)

取りまとめの考え方

Well-being に関する関係府省庁間の情報共有、優良事例の横展開に資するよう、関係府省庁における Well-being に関する取組について取りまとめる。

Well-being について確立された定義はないが、身体的・精神的・社会的に「良い状態」を表す(慶応大学・前野教授)といった定義例にあるように、非常に幅広い概念である。

このため、Well-being に関する取りまとめにおいては、一定の目安を定めた上で、

- ① 目安に適合するものは取りまとめ対象とし、
- ② 目安に適合しないものであっても、各府省庁において Well-being に関連すると考えるものは幅広く取りまとめの対象とする。

1. 基本計画等のKPIに関する取りまとめ

(1-1) 基本計画等のリストアップ

昨年に引き続き、政府内に様々な基本計画等がある中で、今後の Well-being に関する KPI の設定等の検討に資するよう、以下の目安を満たす基本計画等をリストアップする。

(基本計画等のリストアップの目安)

- ① 国民生活に直接関係する分野の基本計画等
- ② 毎年又は複数年ごとに決定・改定する基本計画等
- ③ 総合的・計画的な基本計画等(例: 個別河川の基本計画は原則として対象としない)
- ④ KPI・参考指標等を策定している基本計画等

(1-2) 基本計画等における KPI

上の(1-1)でリストアップした基本計画等のKPI等に関して、

- ① 現行のKPIにおける Well-being 関連指標(※)の設定状況
 - ② 今後の改定時における Well-being 関連指標(※)の追加、見直しの方向性
- について記載する。その際、KPI として多数の Well-being 関連指標が設定されている場合、代表的なものを抽出する。

(※) Well-being 関連指標には、以下のいずれも含む

- ア) 主観的 Well-being 指標(例: 生活満足度、自己肯定感、住環境に満足している割合)
- イ) 生活の質を示すアウトカム指標(例: 文化芸術活動への参加率、子供の貧困率等)

2. Well-being に関する取組・予算額

経済財政運営と改革の基本方針 2024(2024 年 6 月閣議決定)において「行政における Well-being 指標の活用を促進するとともに、当該指標と各種政策との関係性を整理する」とされたところ。これを踏まえ、関係省庁で取り組んでいる Well-being に関する

- ①統計・調査
- ②分析・研究・実証事業等
- ③基本計画等の KPI 改善に資する取組

について、取組概要と予算額を取りまとめる。

<具体的なイメージ>

①統計・調査

- ・主観的 Well-being に関する調査項目を設定している統計調査、意識調査等(委託調査、所管の独立行政法人が実施する統計・調査を含む)
- ・原則として複数回実施する統計・調査(単発の統計・調査は原則対象としない)

②分析・研究・実証事業等

- ・白書・報告書等における主観的 Well-being に関する分析のうち、概ね過去3年以内に実施したもの(例:労働者の満足度に関する分析等)
- ・政府内の各種研究費を活用した、大学・研究機関・民間企業等による主観的 Well-being の計測に関する研究
- ・実証事業について、満足度等の主観的 Well-being の変化を把握するもの
- ・現在は主観的 Well-being について調査していないが、今後、実証事業に合わせて調査することが考えられるもの

③基本計画等の KPI 改善に資する取組

- ・(1-2)で記載した、各省庁が策定する基本計画等において KPI として設定している Well-being 関連指標(主観的 Well-being 指標、生活の質を示すアウトカム指標)を改善するために実施している事業・取組
- ・多数の事業・取組がある場合は、当該 Well-being 関連指標と関係の深い代表的な事業・取組を記載

<取りまとめる事項>

- ・これまでの取組状況の概要

(③基本計画等の KPI 改善に資する取組を記載する場合は、対応する基本計画と Well-being 関連指標についても記載)

- ・Well-being に関する今後の取組方針(統計・調査項目の見直し、分析・研究の予定、実証事業に well-being の要素をどのように加えるか、基本計画等の KPI 改善に資する取組について内容拡充の方向性等)
- ・令和6年度予算額、令和7年度予算概算決定額(白書等の予算を伴わない分析等については、予算額は「－」と記載。隔年予算等は過年度予算額を記載。)

【参考】OECD Guidelines on Measuring Subjective Well-being（抜粋）

主観的 Well-being の測定は、「幸せ (happiness)」を測ることに限定されていると考えられがちである。実際には、主観的 Well-being には単なる幸せ以上の様々な概念が含まれている。このガイドラインでは、比較的広義の主観的 Well-being が用いられている。特に、主観的 Well-being は次のように捉えられている。

肯定的な物から否定的なものまで、人々が自分の生活について行うあらゆる評価と、人々が自身の経験に対して示す感情的反応を含む良好な精神状態。

この定義は包括的なものであり、この分野における研究によって一般に認識されている主観的 Well-being の様々な面をすべて網羅することを意図している。何よりもまず、人々が自分の生活全体をどのように体験し、評価しているかを測ることが含まれる。しかし、このガイドラインではその他に、例えば財産状態や健康状態についての満足度など、生活の特定側面に対する人々の経験と評価の測定、さらに人生の「有意義さ」または「目的」（主観的 Well-being の「エウダイモニア的」側面と呼ばれる）の測定についても、助言を行っている。したがって、主観的 Well-being の定義には次の3要素が含まれる。

- 生活評価：ある人の生活またはその特定側面に対する自己評価。
- 感情：ある人の気持ちまたは情動状態、通常は特定の一時点を基準にして測る。
- エウダイモニア (eudaimonia)：人生における意義と目的意識、または良好な精神的機能。

このガイドラインでは、健康状態の自己評価や、個人が大気の質をどう自覚しているかといった客観的概念の主観的尺度は取り上げていない。この種の質問を測るツールは「主観的」であるが、調査対象となっている事柄自体は主観的ではなく、第三者による観察が可能である。しかし、財政状態や健康状態への満足度のような、人々の生活の特定の領域に対する自己評価の測定については、助言も行っている。本書に収録されている主観的 Well-being の概念の特徴は、調査対象となっている人だけが評価した、情動や精神的機能に関する情報を提供できるということである。つまり、人々の個人的な見解のみが関心の対象だということである。

（備考）

訳は、桑原進監訳・高橋しのぶ訳「主観的幸福を測る」（2015年発行）明石書店、による。ただし同書では Well-being が「幸福」と訳されている一方、Well-being には他にも「身体的・精神的・社会的に『良い状態』を表す」といった定義例もあることから、ここでは「幸福」等と訳さず、単に「Well-being」としている。

記載例

2. Well-being関連の取組・予算

		事業名	項目	現状・取組	予算額 ※R6予算については 概算決定額
府省庁名	〇〇交付金	③基本計画等のKPI改善に資する取組	<p>【計画名】 〇〇大綱</p> <p>【Well-being関連指標】 〇〇と考える人の割合 等</p> <p>【現状】 事業における各種取組やその実施状況等を記載</p> <p>【今後】 KPIとして設定したWell-being関連指標の改善に資するよう、〇〇の観点から拡充を予定。</p>	<p>【R6】 〇〇億円</p> <p>【R7】 〇〇億円</p>	
府省庁名	〇〇プロジェクト	③基本計画等のKPI改善に資する取組	<p>【計画名】 〇〇計画</p> <p>【Well-being関連指標】 〇〇をしないと「思う」「やや思う」人の割合 等</p> <p>【現状】 事業における各種取組やその実施状況等を記載</p> <p>【今後】 KPIとして設定したWell-being関連指標の改善に資するよう、〇〇の充実を図る。</p>	<p>【R6】 〇〇億円の内数</p> <p>【R7】 〇〇億円の内数</p>	
1	内閣官房	人々のつながりに関する基礎調査（孤独・孤立の実態把握に関する全国調査）	①統計・調査	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16歳以上の個人2万人を対象に「孤独感」に関する以下の質問を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ○「あなたは、自分には人とのつきあいが無いと感じることがありますか。」（間接質問/UCLA孤独感尺度3項目版） ○「あなたは、自分を取り残されていると感じることがありますか。」（間接質問/UCLA孤独感尺度3項目版） ○「あなたは、自分とは他の人たちから孤立していると感じることがありますか。」（間接質問/UCLA孤独感尺度3項目版） ○「あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。」（直接質問） <p>【今後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、上記項目を含め調査を実施する予定。 	<p>【R5】 0.4億円</p> <p>【R6】 0.4億円 （内閣府から要求）</p>